

金融商品 仕組みは

青い森信金などが
野辺地西高で授業

野辺地



村本副長(右)の話に
聞き入る生徒たち

青い森信用金庫(八戸市)は23日、同市の誘致企業であるマネックス証券と連携し、野辺地町の野辺地西高校で金融教育に関する授業を行った。2年生53人がローンや金融商品などの仕組みや、クレジットカードの支払い方法などについて学んだ。成人年齢引き下げにより、18歳から保護者の同意なしに自分名義のクレジットカードやローンの契約、証券口座の開設などが可能となり、2022年度から高校家庭科で資産形成に関する授業も必修化されたことから、金融に関して適切な知識を身に

付けてもらおうと行った。

授業では青い森信金地域支援室の村本尚彦副長が住宅購入、教育、老後といった人生におけるお金が必要となる場面や、お金がたまりやすい家計管理の方法などを説明。「借りる前に返済のイメージを持ってほしい。時には購入計画の再検討も必要」 「クレジットカードは注意点を理解して、お得に利用しよう」などと呼びかけた。マネックス証券マネックス・ユニバーシティ室の和田真弥(まみ)さんは金融商品の種類や、資産運用の必要性などに関して述べた。

授業に参加した白濱なおさんは「難しい言葉もあったけど、うまく貯金できる方法など、今後の生活に役立つ話をたくさん聞いた」と話した。

(兼平昌寛)